

鳥取剣豪列伝

豪伝 人の巻 鳥取名剣士

日本三大仇討ちの立役者 荒木又右衛門

あらまたまもん(一五九〇〜一六三八) 仇討ち成功後、鳥取藩に召し抱えられるが、わずか15日後に死亡した。

墓は「玄忠寺」

三大仇討ちのひとつに数えられる「伊賀越えの仇討ち」で知られる荒木又右衛門は、柳生新陰流の達人で、大和郡山藩の剣術指南役だった。義弟渡辺数馬の実弟を殺害した河合又五郎を討つため郡山藩を辞し、数馬とともに江戸から東海道、上方を訪ね歩く。伊賀上野(三重県上野市)の鍵屋ノ辻で又五郎ら待ち伏せし、見事仇討ちに成功。又右衛門はこの仇討ちの後、鳥取にお国替えになった池田家藩主に事のてん末を報告、鳥取藩に迎えられるが、わずか15日後に死亡したとされる。しかし、事の詳細は明らかではなく毒殺説や

旗本の対立も、双方の面目が立ち天下二分も避けられた。数馬の仇討ちがここまで広く知れ渡ったもうひとつの理由だ。 『興禅寺』にある渡辺数馬の墓のすぐ近くには「新陰田流刀槍二術」を極めた達人猪多伊折佐の墓も並ぶ。



荒木又右衛門の墓がある「玄忠寺」の見どころは高木百拙筆による羅漢のふすま絵。"羅漢"とは仏教修行で最高段位の称。釈迦の弟子で、特に優れた16人が「十六羅漢」と呼ばれる。全40面のふすまの羅漢の画中には「ええだないか」「宝ですけえ」などと因幡地方の方言が書き加えられている。味わいのあるユニークな墨絵は、訪れる人の心を引きつけて放さない。庭も見事なので、ぜひ目にしてほしい。

鳥取にゆかりの剣豪たち。 彼らの勇姿とともに、そのサムライ魂と出会う。 城下町・鳥取ならではの魅力だ。

生存隠匿説など様々な憶測がなされた。

この仇討ちで、又右衛門は全国的に名を知られる剣豪となり、その仇討ちは歌舞伎や映画などになった。板東妻三郎や三船敏郎が、又右衛門を演じて大変な人気だった。墓のある「玄忠寺」の境内には遺品館があり、鍵屋ノ辻で折った愛刀「法橋藤原金道」など、仇討ちに関する資料や品が展示されている。

「光明寺」(五の中)には、仇討ちに加わった又右衛門の弟子、岩本孫右衛門の墓もある。

「伊賀越えの仇討ち」の主演 渡辺数馬は、もとは備前国岡山藩士で、岡山城のすぐ側に屋敷(約680坪)の大屋

受け継ぐ道場。藩校の流れをくみ、水戸の東武館と交流試合などを重ねている。

大坂冬の陣・夏の陣で活躍 後藤又兵衛

戦国時代の武将でもあり、槍の使い手の後藤又兵衛は大隈城1万6千石の領主だったが、出奔し、豊臣秀頼に軍師として迎えられた。さらに、徳川家康からも、寝返りの誘いがあったほどの名将。その遺髪を埋めた墓と妻子の墓が景福寺にある。

その「景福寺」には石臼の形をした羽生郷右衛門の墓がある。鳥取藩主池田光仲に特技を聞かれ、武士が武芸を心得るのは当たり前だと米粒で糊を作ってみせ、光仲を感銘させた「強物」。辞世句「世の中をめぐりめぐりて因幡路をめぐりたらいて挽臼となる」

武術の達人+怪力の持ち主 白井本覚

「雖井蛙(せいあ)流平法」とは鳥取藩の剣術の主流となり鳥取藩にだけ伝わる流派。深尾角馬は丹石流をはじめ多くの流派を学んだ後、従来の甲冑を着けての剣術を改め、甲冑を着けない素肌で剣術である雖井蛙流を興した。鳥取の剣術の「祖」ともいえる角馬だが、武士としては悲しい最期を迎えた。自分の娘の事で百姓と争い、3人を殺害した罪で切腹その物語が上野忠親の「雪窓夜話」などに登場し有名となった。切腹を前に自らしたためた法名を刻む墓が本浄寺にある。また、鳥取城跡近くにある「尚徳鍊武館」は、雖井蛙流を

「願わくば我に七難八苦を与えたまえ。この言葉で知られる山中鹿介幸盛は鳥取市街から西へ車で30分ほどいった鹿野町で出会える。戦国時代の名将だが、剣の名手としても有名で鹿野城主・亀井茲矩の妻が鹿介の養女だった。鹿野城下に「幸盛寺」を建立し、墓を設けた。

「願わくば我に七難八苦を与えたまえ。この言葉で知られる山中鹿介幸盛は鳥取市街から西へ車で30分ほどいった鹿野町で出会える。戦国時代の名将だが、剣の名手としても有名で鹿野城主・亀井茲矩の妻が鹿介の養女だった。鹿野城下に「幸盛寺」を建立し、墓を設けた。

レンタサイクルで気楽に。 秘伝 自分のペースで散策したいなら、レンタサイクルでのんびりと。詳細は巻末に。

剣豪列伝 地の巻 鳥取市街地マップ



剣豪列伝 足の巻 縦横無尽に市内観光

乗降り自由な観光ループバス 鳥取市内の観光は、ループバスでぜひ。「鳥取城跡」や「玄忠寺」、「渡辺美術館」などで下車できる右回りコース・左回りコースがある。

レンタサイクルなら終日使える。 のんびり派もシッカリ派も!

タクシーのごあんない ※市外局番:0857

鳥取市の歴史・文化の殿堂 鳥取市歴史博物館 やまびこ館

古地図を元に作られた城下町の巨大なジオラマはぜひ見ておきたい。本紙の地図面や、現在の地図と見比べて見れば、城下町・鳥取の様子がよくわかる。

観光情報のお問い合わせは下記まで 鳥取市観光案内所 ☎0857-22-3318

直筆の書や愛刀など遺品が揃う 荒木又右衛門遺品館

5千点におよぶ武具・甲冑 渡辺美術館

鳥取の歴史・文化の殿堂 鳥取市歴史博物館 やまびこ館

名所 剣豪ゆかりの名所や旧跡も 鳥取城跡久松公園 大雲院 家康ゆかりの寺 荒木神社

※本紙掲載の地図は、2014年4月現在のものです。

鳥取三十二万石「城下町」めぐり

鳥取歩きのお問合わせ 鳥取市観光案内所：電話0857-22-3318

全国13番目の城下町だった鳥取。古地図で歩けば「サムライ」気分。*古地図のため現在の道や建物、名称などが異なる箇所があります。

あの剣豪も鳥取に!?
ちなみに「暴れん坊将軍」の白馬に乗った松平健が砂浜を駆け抜けるタイトル映像のロケ地は鳥取砂丘だった。

指南 剣豪めぐり城下町散歩のススメ

JR鳥取駅を拠点に城下町を散策するならば、1つ「麒麟獅子バス」と、2つ「丸バス」を活用しよう。まずは「100円バス赤コース」に乗り、「やまびこ館」で下車。鳥取市の歴史や地理を通り頭に入れ、**鳥取東照宮**を参詣したら山手通りを北に歩こう。

古い街並を徒歩で
目の前の久松山を目印に山沿いの一本道を直進。この界限は、武家屋敷が建ち並んでいたエリアで古い町並みが残っている。興禅寺に寄り渡辺数馬の墓前で手を合わせたら**箕浦家武家門**、お堀の手前まで**吉川経家公像**に一礼して鳥取城跡へ。二ノ丸からの市内の展望はまさに殿様気分。

『鳥取城跡』で再び、丸バス(Aコース)に乗り、向うのは鳥取藩主ゆかりの刀剣や甲冑、書画などが見える**渡辺美術館**。

鳥取城跡方面からのAコースに乗車すれば、鳥取砂丘や鳥取の台所賀露をめぐって、次は荒木又右衛門の墓がある**玄忠寺**で下車。羅漢堂や**道品寺**へもぜひ。ここから後藤又兵衛の墓が約1分。三ノ丸は歩いて約1分。三ノ丸の石臼の形羽生郷右衛門の墓は、見の価値ありだ。そこから、南東に5分ほど歩くと**袋川**へ。

鑄物師橋から南へ川沿いに歩く。この**桜土手**は、名前の通り桜の名所として有名。市場橋、鹿野橋、城下町の入口、智頭橋と花見橋そして**荒木神社**を通り若松橋へ。かつての城下町の外堀をそぞろ歩き。最期に**本浄寺**で、深尾角馬の墓に手を合わせ鳥取城跡めぐりの完成。ここから5分ほど歩けば鳥取駅に戻れる。丸1日をかけての旅をどうぞ。

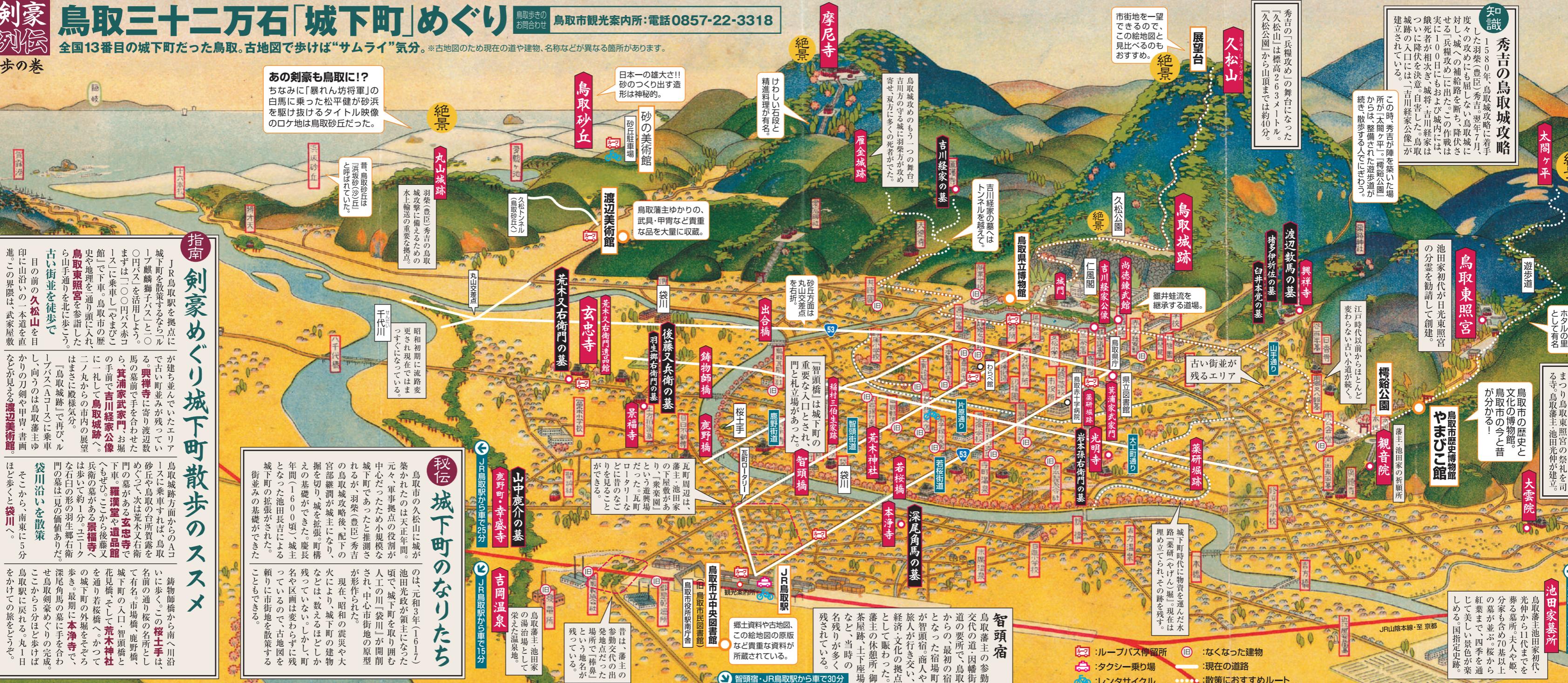
秘伝 城下町のなりたち

鳥取市の久松山に城が築かれたのは天正年間。元々、軍事拠点の役割が中心だったため規模が小さかった。瓦町、袋川が閉削され、川市街地の原型が形作られた。

現在、昭和の震災や大火により、城下町の建物などは、数えるほどしか残っていない。しかし、町名や区画は変わらずに残っている。古地図を頼りに市街地を散策することもできる。

鳥取藩主池田家の湯治場として栄えた温泉地。

鳥取藩主池田家の湯治場として栄えた温泉地。



知識 秀吉の鳥取城攻略

1580年、鳥取城攻略に着手した羽柴豊臣秀吉。翌年7月、度々の攻めにも屈しない鳥取城に対し、城への補給路を断ち、降伏させる「兵糧攻め」に出た。この作戦は実に100日にもおよび城内には、餓死者が相次ぎ、城将・吉川経家はついに降伏を決意。自害した。鳥取城跡の入口には、吉川経家公像が建立されている。

この時、秀吉が陣を築いた場所が「太閤ヶ平」「樽銘公園」からは、整備された遊歩道が続き、散歩する人でにぎわう。

秀吉の「兵糧攻め」の舞台になった「久松山」は標高263メートル。「久松公園」から山頂までは約40分。

市街地を一望できるので、この絵地図の見比べるのもおすすめ。

絶景 太閤ヶ平

江戸時代以前からほとんど変わらない古い小道が続く。

鳥取東照宮の分霊を勧請して創建。

鳥取市の歴史と文化の博物館。鳥取市の今と昔が分かる!

鳥取藩主池田家初代、光伸から11代までを葬る墓所。夫人や姫、分家も含め70基以上の墓が並ぶ。桜から紅葉まで、四季を通じて美しい景色が楽しめる。国指定史跡。

鳥取藩主池田家初代、光伸から11代までを葬る墓所。夫人や姫、分家も含め70基以上の墓が並ぶ。桜から紅葉まで、四季を通じて美しい景色が楽しめる。国指定史跡。

- 🚏 : ループバス停留所
- 🚗 : タクシー乗り場
- 🚲 : レンタサイクル
- 🏠 : なくなった建物
- 🛣️ : 現在の道路
- 👉 : 散策におすすめルート

智頭宿
鳥取藩主の参勤交代の道・因幡街道の要所で、鳥取から最初の宿となった宿場町が智頭宿。商人や旅人が行き交い、経済文化の拠点として賑わった。藩主の休憩所、御茶屋跡、土下座場など、当時の名残が多く残されている。

郷土資料や古地図、この絵地図の原版など貴重な資料が所蔵されている。

昔は、藩主の参勤交代の出発点だった場所。『櫻井』という地名が残っている。

鳥取城攻めのもう一つの舞台。吉川方の守る城に羽柴方が攻め寄せ、双方に多くの死者が出た。

日本一の雄大さ!! 砂のつくり出す造形は神秘的。

鳥取砂丘

丸山城跡

羽柴(豊臣)秀吉の鳥取城攻撃に備えるための水上輸送の重要な拠点。

青島砂丘は「浜城砂丘」と呼ばれていた。

久松公園

久松山

ホテルの里として有名

鳥取東照宮

樽銘公園

江戸時代以前からほとんど変わらない古い小道が続く。

興禅寺

渡辺数馬の墓

猪多伊折佐の墓

白井本光の墓

鳥取城跡

久松公園

吉川経家の墓

尚徳録武館

吉川経家公像

仁風閣

鳥取県立博物館

丸山交差点

丸山交差点